

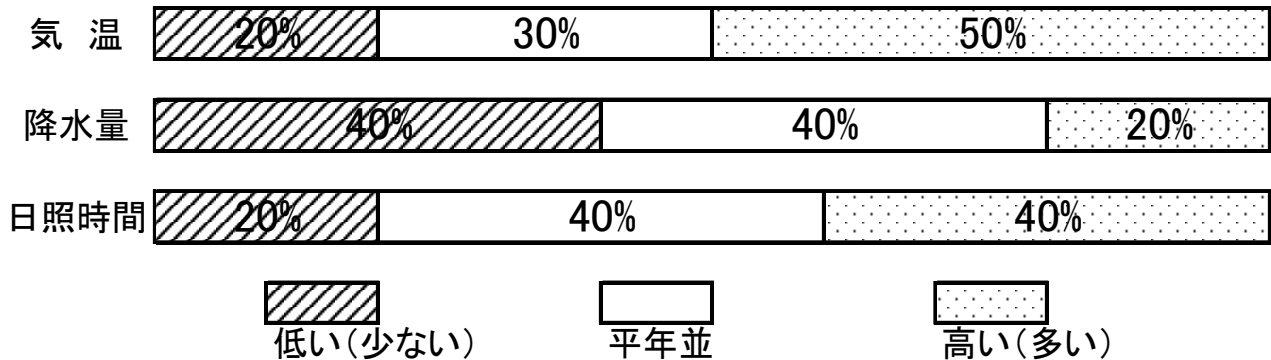
平成29年度 病害虫発生予察情報 発生予報第2号（5月）

平成29年5月 2日
島 根 県

予報の概要

区分	農作物名	病害虫名	予想発生量
普通作物	ムギ	さび病類	平年並～やや多い
		赤かび病	平年並
イネ	イネ	うどんこ病	平年並
		ヒメトビウンカ	平年並
		ニカメイチュウ	やや多い
		イネミズゾウムシ	やや少ない
果樹	ナシ	黒斑病	平年並
		黒星病	平年並
		シンクイムシ類	平年並
		ハマキムシ類	平年並～やや多い
		ハダニ類	平年並～やや多い
カキ	カキ	灰色かび病	やや少ない
		カクタアザミマ	平年並
		トリクス属菌による葉枯れ	平年並
野菜	タマネギ	べと病	やや少ない
		腐敗病・軟腐病	平年並
		イチゴ	平年並
		うどんこ病	少ない
		アブラムシ類	やや少ない
		ハダニ類	多い

中国地方1か月予報(4月29日～5月28日・広島地方气象台4月27日発表)
＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)＞



A. 普通作物

1) ムギ

(1) さび病類 (小さび病、赤さび病)

予報内容

発生地方

県内全域

発生量

平年並～やや多い

予報の根拠

① コムギ赤さび病の巡回調査地点における4月下旬の発生量は、一部地域でやや多く、発生ほ場率が13.9% (平年3.7%)、発病茎率が7.5% (平年2.0%)であった。オオムギ小さび病は発生を認めていない。

② ムギの生育はやや早い。

③ 5月の気象は本病の発生に助長的である。

(2) 赤かび病

予報内容

発生地方

県内全域

発生量

平年並

- 予報の根拠
 ① 4月下旬の巡回調査で、コムギで初発生を確認した。
 ② ムギの生育はやや早い。
 ③ 5月の気象は本病の発生にやや助長的である。

(3) うどんこ病

- 予報内容
 発生地方 県内全域
 発生量 平年並

- 予報の根拠
 ① 現在、発生を認めていない。また、近年の発生量は少ない。
 ② ムギの生育はやや早い。
 ③ 5月の気象は本病の発生にやや助長的である。

2) イネ

(1) ヒメトビウンカ

- 予報内容
 発生地方 県内全域
 発生時期 平年並
 発生量 平年並

- 予報の根拠
 ① 予察灯への飛来は、4月第5半旬まで認められない。
 ② 4月中旬のすくい取り調査（耕起前）では、捕獲数は1.6頭/20回振（平年1.7頭）、発生ほ場率は57.1%（平年17.0%）で発生量は平年並みである。
 ③ 越冬世代成幼虫のイネ縞葉枯病ウイルス保毒虫率は0%（過去8年の平均1.7%）と低い。
 ④ 5月の気象は本種の発生にやや助長的である。

(2) ニカメイチュウ（第1世代）

- 予報内容
 発生地方 県内全域
 発生時期 やや早い
 発生量 やや多い

- 予報の根拠
 ① 予察灯への飛来は4月第5半旬に1頭認められ、平年に比べやや早い。フェロモントラップへの飛来は4月第5半旬まで認められない。
 ② 前年の第2世代成虫発生量は、予察灯への飛来は37頭（平年9.5頭）、フェロモントラップへの飛来は139頭（平年52.2頭）で平年と比べやや多く、越冬量はやや多いと考えられる。
 ③ 5月の気象は本種の発生にやや助長的である。

(3) イネミズゾウムシ

- 予報内容
 発生地方 県内全域
 発生時期 平年並
 発生量 やや少ない

- 予報の根拠
 ① 予察灯への飛来は、4月第5半旬まで認められない。
 ② 前年の6月後半から9月にかけて予察灯に誘殺された新成虫の累積数はやや少なく（平年比48.6%）、本年の越冬量はやや少ないと考えられる。
 ③ 5月の気象は本種の発生にやや助長的である。

B. 果樹

1) ナシ

(1) 黒斑病

- 予報内容
 発生地方 県内「二十世紀」栽培地帯
 発生量 平年並

- 予報の根拠
 ① 4月25日の巡回調査では発病を確認しておらず、発生量は平年並みである。
 ② 5月の気象は本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) 黒星病

- 予報内容
 発生地方 県内ナシ栽培地帯
 発生量 平年並

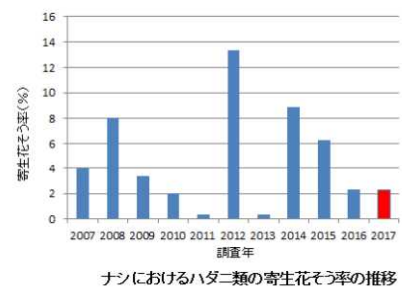
- 予報の根拠
 ① 4月25日の巡回調査では発病を確認しておらず、発生量は平年並みである。
 ② 5月の気象は本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(3) シンクイムシ類

- 予報内容
 発生地方 県内ナシ栽培地帯

- 発生時期 やや早い
発生量 平年並
- 予報の根拠
① 初飛来日は4月5日でやや早い。
② 前年の性フェロモントラップでのナシヒメシクイ第3世代成虫の誘殺数は平年並みで、越冬量は平年並みと考えられる。
③ 性フェロモントラップ（安来市）でのナシヒメシクイの誘殺数は平年並みである。
④ 5月の気象は本種の発生にやや助長的である。
- (4) ハマキムシ類
- 予報内容
発生地方 県内ナシ栽培地帯
発生時期 平年並
発生量 平年並～やや多い

- 予報の根拠
① フェロモントラップの初誘殺は4月16日で平年並み、誘殺数は平年並みである。
② 5月の気象は本種の発生にやや助長的である。
- (5) ハダニ類
- 予報内容
発生地方 県内ナシ栽培地帯
発生量 平年並～やや多い
- 予報の根拠
① バンドトラップ調査ではカンザワハダニの越冬量は平年並みである。
② 4月下旬の巡回調査（安来市）では寄生花そう率は2.3%（平年4.9%）と平年並みである。主要種はクワオオハダニである。
③ 5月の気象は本種の発生にやや助長的である。ニ防除の注意：クワオオハダニに効果がない殺ダニ剤があるので薬剤の選定には注意する。



- 3) カキ
- (1) 灰色かび病
- 予報内容
発生地方 県内カキ栽培地帯
発生量 やや少ない
- 予報の根拠
① 4月24日の巡回調査では発病を確認しておらず、発生量は平年と比べてやや少ない（平年の発病葉率1.2%）。
② 5月の気象は本病の発生を特に助長する要因とはならない。
- (2) カキクダアザミウマ
- 予報内容
発生地方 県内カキ栽培地帯
発生時期 平年並
発生量 平年並
- 予報の根拠
① 4月下旬までに黄色粘着トラップで越冬成虫の誘殺は認められない。
② 4月26日の巡回調査では巻葉被害が認められない。
③ 5月の気象は本種の発生を特に助長する要因とはならない。

C. 野菜

- 1) タマネギ
- (1) ボトリチス属菌による葉枯れ
- 予報内容
発生地方 県内全域
発生量 平年並
- 予報の根拠
① 巡回調査地点における4月下旬の発生量は、発生ほ場率3.3%（平年5.3%）、発病株率0.1%（平年0.1%）で平年並みである。
② 5月の気象は本病の発生を特に助長する要因とはならない。
- (2) ベと病
- 予報内容
発生地方 県内全域
発生量 やや少ない
- 予報の根拠
① 巡回調査地点における4月下旬の発生量は、発生ほ場率20.0%（平年27.9%）、発病株率0.6%（平年3.3%）と平年に比べてやや少ない。
② 5月の気象は本病の発生を特に助長する要因とはならない。
- (3) 腐敗病、軟腐病
- 予報内容
発生地方 県内全域

発生量 平年並
予報の根拠
①巡回調査地点における4月下旬の発生量は、発生ほ場率30.0%（平年38.8%）、
発病株率は0.6%（平年1.7%）で平年並みである。
②5月の気象は本病の発生を特に助長する要因とはならない。

2) イチゴ

(1) 灰色かび病

予報内容
発生地方 県内全域
発生量 平年並
予報の根拠

①巡回調査地点における4月下旬の発生量は、発病株率8.4%（平年15.9%）、
発病葉率0.5%（平年0.7%）で平年並みである。
②5月の気象は本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) うどんこ病

予報内容
発生地方 県内全域
発生量 少ない
予報の根拠

①巡回調査地点における4月下旬の発生量は、発病葉率0.0%（平年0.0%）、
発病果率0.0%（平年0.6%）と平年に比べて少ない。
②5月の気象は本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(3) アブラムシ類

予報内容
発生地方 県内全域
発生量 やや少ない
予報の根拠

①4月下旬の発生量は、発生ほ場率14.3%（平年22%）、寄生株率1.4%（平年4.0%）、
寄生小葉率0.2%（平年1.4%）とやや少ない。
②5月の気象は本種の発生を特に助長する要因とはならない。

(4) ハダニ類（ナミハダニなど）

予報内容
発生地方 県内全域
発生量 多い
予報の根拠

①4月下旬の発生量は、発生ほ場率87.5%（平年56.4%）、寄生株率66.3%（平年26.7%）と多い。
②5月の気象は本種の発生を特に抑制しない。

注)平成29年度 病虫害発生予察情報 技術資料第2号(4月3日発表) 参照。

【参考となる事項】

※最新の農薬登録状況

独立行政法人 農林水産消費安全技術センターホームページには、農薬の登録や失効に関する情報、農薬登録情報検索システムなどが掲載されています。
農林水産消費安全技術センターのアドレスは <http://www.acis.famic.go.jp/>

島根県病虫害防除所（島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫科）

〒693-0035 出雲市芦渡町2440

TEL 0853-22-6772、FAX 0853-24-3342

ホームページアドレス

http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/gijutsu/nougyo_tech/byougaityuu/

e-mail boujyo@pref.shimane.lg.jp